

## 三重県鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

### Ⅰ 概況

#### 1. 生産の動き

平成3年の県内鉱工業生産指数の年平均は、109.9（昭和60年=100）で（年指数については、原指数による。以下同じ。）、対前年比△1.3%の減少となった。四半期ごとの推移についてみると（四半期別指数については、季節調整済指数による。以下同じ。）1～3月期110.5（対前期比1.9%減）、4～6月期111.8（同1.3%増）、7～9月期109.9（同1.8%減）、10～12月期107.9（同1.8%減）と増減を繰り返した。（表1、図1）

これを業種別に対前年比で見ると、非鉄金属工業4.5%、電気機械工業3.6%、化学工業0.2%、石油・石炭製品工業1.4%、パルプ・紙・紙加工品工業1.6%とそれぞれ増加した。鉄鋼業△4.1%、窯業・土石製品工業△2.1%、金属製品工業△8.5%、一般機械工業△3.1%、輸送機械工業△5.5%、プラスチック製品工業△3.6%、繊維工業△1.4%、食料品工業△2.2%とそれぞれ減少した。（表3）

また、財別に対前年比で見ると、鉱工業用生産財0.2%、耐久消費財3.4%、その他用生産財3.1%とそれぞれ増加した。一方、非耐久消費財△5.6%、資本財△4.5%、建設財△4.9%とそれぞれ減少した。

#### 2. 生産者製品在庫の動き

平成3年の県内鉱工業生産者製品在庫指数（以下「在庫指数」という。）の年平均は、117.1（昭和60年=100）で、対前年比5.6%の増加となった。四半期ごとの推移についてみると、1～3月期113.2（対前期比0.5%減）、4～6月期118.1（同4.3%増）、7～9月期117.8（同0.3%減）、10～12月期119.4（同1.4%増）と、増減を繰り返した。（表2、図1）

これを業種別に対前年比で見ると、非鉄金属工業7.9%、輸送機械工業6.9%、窯業・土石製品工業10.0%、化学工業18.2%、プラスチック製品工業26.9%、繊維工業1.8%、食料品工業16.8%とそれぞれ増加した。一方、鉄鋼業△13.0%、金属製品工業△3.2%、一般機械工業△17.3%、石油・石炭製品工業△4.6%、パルプ・紙・紙加工品工業△7.3%、電気機械工業△44.9%とそれぞれ減少した。（表4）

また、財別に対前年比で見ると、建設財10.6%、耐久消費財17.4%、鉱工業用生産財8.7%とそれぞれ増加した。一方、資本財△10.9%、非耐久消費財△0.8%、その他用生産財△6.1%とそれぞれ減少した。（表6）

#### （参考）全国の概況

平成3年の鉱工業生産指数は128.0で、前年比2.1%と昭和61年（同△0.2%）以来の低い伸びにとどまった。四半期別にみると、1～3月期は前期比△0.1%、4～6月期は同△0.7%と2期連続の低下となった。7～9月期は同0.3%の上昇となったものの、10～12月期は同△1.1%と再び低下となった。

（通商産業大臣官房調査統計部編「平成3年 年間回顧 鉱工業生産活動分析」から抜粋）

表1 鉱工業生産指数の推移

昭和60年=100

表2 鉱工業生産者製品在庫指数の推移

昭和60年=100

	全 国		三 重 県	
	指 数	前年(期)比	指 数	前年(期)比
62年 "	103.2	103.4	101.5	101.3
63年 "	113.0	109.5	105.1	103.5
元年 "	119.9	106.1	111.5	106.1
2年 "	125.4	104.6	111.3	99.8
3年 "	128.0	102.1	109.9	98.7
3年Ⅰ期	128.9	100.0	110.5	98.1
Ⅱ期	128.2	99.5	111.8	101.3
Ⅲ期	128.3	100.1	109.9	98.2
Ⅳ期	126.8	98.8	107.9	98.2

	全 国		三 重 県	
	指 数	前年(期)比	指 数	前年(期)比
62年 "	97.4	96.3	97.0	93.3
63年 "	99.0	101.6	92.4	95.3
元年 "	106.8	107.9	103.2	111.7
2年 "	109.3	102.3	110.8	107.4
3年 "	117.3	107.3	117.1	105.6
3年Ⅰ期	112.3	102.5	113.2	99.5
Ⅱ期	115.9	103.2	118.1	104.3
Ⅲ期	118.8	102.5	117.8	99.7
Ⅳ期	122.5	103.1	119.4	101.4

(年平均は原指数。四半期別指数は季節調整済指数)

(年平均は原指数。四半期別指数は季節調整済指数)

図1. 鉱工業指数の推移 (昭和60年=100、季節調整済)

